

医療生協橘支部総会開催



サンテとはフランス語で健康の意味です。(イラスト by 原田こういち)

川崎医療生協
橘支部ニュース
2016年4月
NO.310
発行責任
ニュース編集委員会
(777) 9818
増田
転居・誤配等の
連絡先は下記へ
(788) 1240
秋元

川崎協同病院

機能が大きく変わり病院の 役割が分かりやすくなりました。

2016年10月から地域包括ケア病棟を開設しました。地域包括ケア病棟とは、急性期治療を一定終了し、在宅までの療養を準備する患者、あるいは在宅療養中の患者の軽症疾患での入院などを受け入れる病棟です。そして、①急性期病棟・②回復期リハビリテーション病棟・③慢性期病棟(障害者病棟)・④地域包括ケア病棟の4つの機能をもった多機能の病院となります。

病棟は大きく4つの機能に別れています。

- ①急性期病棟→緊急疾患、高度な医療支援を行う病棟
- ②回復期リハ病棟→脳血管疾患、大腿骨頸部骨折等の病気で急性期の治療を終え病状が安定した方で、リハビリが必要な方、社会復帰を支援する病棟。疾患に応じて60・90・150日の入院ができる。(92床)
- ③障害者病棟→重度障害者等に治療・リハビリ・看護を行う病棟。91日以上入院ができる。
- ④地域包括ケア病棟→小さな体調異常も支援、日常生活復帰を支援。最大で2か月まで入院ができる。(54床)

そしてなんといっても医療生協の特徴は、差額ベッド代は徴収せず、無料低額診療事業も実践していること。ご相談は川崎協同病院地域連携室相談家 044-299-4781 まで

2016年6 課題目標 (3月度到達)		
	目標	到達
加入	20名	11
配布者	3名	5
新班	2班	1
出資金	100万円	637,500
健康チェック	600	734
班会開催	60	84

今年から「健康チェック」「班会開催」が加わり6課題になりました。

これからの主な行事

6・9 行動の開催確認は
山田充邦氏までTEL766-3437

≪2017年5月≫

- 1日(月) サンテ編集会議 9:30~12:00 プラザ橘
6日(土) 6・9 行動 13:30~14:30 溝のロキラリデッ
8日(月) 橘支部運営委員会 9:30~11:30 プラザ橘
ニュースセット 13:00~ プラザ橘
9日(火) 6・9 行動 13:30~14:30 溝のロキラリデッキ
10日(水) 梶ヶ谷ニュースセット
10:00~13:00 市民プラザ301
11日(木) 第一楽食会
18日(水) 憲法25条を守る5・18共同集会」12:30~ 日比谷野外音楽堂
20日(土) 第二楽食会
26日(金) 支部長会議 10:00~12:00
28日(日) 公害・環境・健康まちづくりフェスタ 溝のロデッキ
≪2017年6月≫
4日(日) 平和をきずく市民の集い 10時~15時 川崎市平和館
日(月) サンテ編集会議 9:30~12:00 プラザ橘
6日(火) 6・9 行動 13:30~14:30 溝のロキラリデッ
日(月) 橘支部運営委員会 9:30~11:30 プラザ橘
ニュースセット 13:00~ プラザ橘
9日(金) 6・9 行動 13:30~14:30 溝のロキラリデッキ
日(水) 梶ヶ谷ニュースセット
10:00~13:00 市民プラザ301
日(木) 第一楽食会
24日(土) 第68回通常総代会 13:30~17:00 サンピアンかわさき

●年に一度はとってもお得な医療生協
で健康診断を受けましょう。

坂戸診療所所長・内野先生による医療講座 ⑧

慢性心不全① 心臓の収縮機能の低下による心不全。

心臓は全身に血液を送り出すポンプです。心臓のポンプ機能が低下した状態が「心不全」です。不整脈、心筋梗塞をはじめ全ての心臓病が悪化すると心不全が発症します。心不全の症状には息苦しさ、下肢のむくみなどがあります。

現在のところ、心不全の悪化を防ぐ治療はあっても、完璧なおす治療法はないのです。そのため慢性という言葉をつけて「慢性心不全」と呼ぶことが多いのです。しかし、患者さんがこの病気と上手にお付き合いし、治療薬とともに食塩摂取制限などの生活習慣の修正もきちんとされれば、病気の悪化は防げます。

心臓のポンプ機能として左心室の収縮機能と拡張機能が重要です。心臓の左心室は左心房から血液を受け取り大動脈に送り出します。左心房から血液を受け取る時、左心室は拡張します。大動脈に血液を送り出す時、左心室は収縮します。注目すべきは収縮機能が低下した心臓では左心室の内腔が拡大して来ることです。心臓は一回に約80mlの血液を身体に送る必要があるのですが、左心室の収縮機能が低下して、一回の収縮で約50mlの血液しか送出できなくなると左心室は拡大して来るとです。左心室が拡大すれば、左心室があまり収縮しなくても1回で80mlの血液が送れるので、心臓を拡大させて収縮の低下を補おうとします。健康診断の胸の写真で心陰影の拡大を指摘された方は心エコー図検査を受けましょう。心エコー図で左心室が拡大し収縮力が低下していれば心不全と診断できます。次回回は左室の拡張機能低下による心不全についてお話します。

